

編集後記

2年前に復刊した本学紀要は、本学における研究や教育を学外に伝える発信源の一つとして着実にその地歩を固めつつある。本学紀要の特徴の一つとして、学生の卒業研究・修了研究であっても研究内容が優れたものについては、研究指導教員が大幅な加筆修正をおこない掲載することが挙げられる。本紀要に掲載されることを目標に研究をおこなっていると何人もの学生に告げられるなど、本学紀要の目指す役割が学生に理解されていることは喜ばしく感じられます。また、2年前の本学紀要に掲載された研究論文の著者の一人は、本学紀要に掲載されたことを誇りに感じ、現在の勤務先での研究活動を一生懸命に行っているとの便りもいただいている。本学紀要は卒業生にも研究成果の発表の場として門戸を拡げており、1,700名を越える本学卒業生・修了生に投稿を呼びかけていきたい。

本年度発行の紀要の特色として本学が力を入れているファカルティ・ディベロップメント（FD）活動の一環として海外研修を受けた教員の報告を2編掲載した。いずれも医療機関のシステムや看護師教育システムについて日本と海外の違いに驚かされ、日本のシステムが抱える問題点について考えさせられると共に、優れた点を再発見できたという報告であった。この研修の成果は、著者だけではなく、本学紀要を通して多くの読者に影響を与えるものと考えている。また、小池明子名誉教授にも「看護教育の原点を考える」という題名で寄稿していただいた。看護教育の本質が明確に示された著作であり、多くの読者が感銘を受けるものと思われる。

今後も本学紀要を充実させ、本学の研究や教育の発展に貢献していきたいと考えています。本学関係者の積極的な投稿をお待ちしております。

平成22年2月

紀要編集委員長：塚本恭正